

「誰もが当たり前に暮らせる地域社会へ ～支援が必要な方と地域で暮らすために～」

福井市障がい者自立支援協議会

地域移行・地域定着部会 研修グループ

本日の内容

- ◆障がい（者）とは
- ◆障がいがあるということと生活
- ◆障がい者への偏見
- ◆手を差し伸べなくてはいけないのは、障がい者だけではない
- ◆地域の異常に気付くために
- ◆困ったときの相談場所

民生委員・児童委員さんの役割

高齢者、障がい者、児童、母子世帯など要援護者の調査、実態把握、相談支援を行ったり
各種行事への参加協力や自主的な地域福祉活動など、幅広い活動を行っている



障害者基本法

全ての国民が障害の有無にかかわらず、等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものである。

全ての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現する

障害者とは、**身体障害、知的障害、精神障害**（発達障害を含む）
その他の心身の機能の障害があるもの

福井市で生活している障害者の人数

福井市の人口（令和7年5月）：

東足羽地区の人口（令和7年5月）：

福井市で障害者手帳所持している人数（令和4年度統計）：

身体： 知的： 精神：

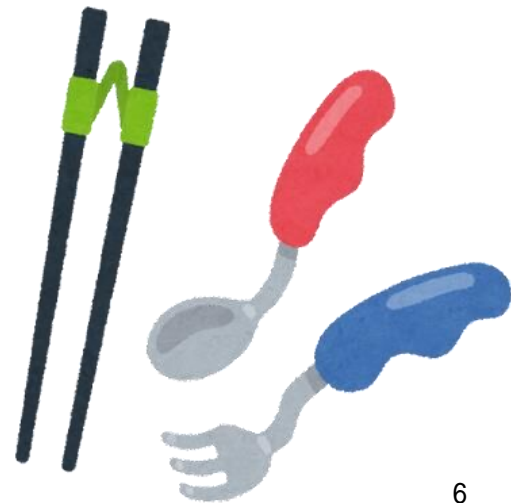
東足羽地区の人口に当てはめると

※人口、障害者手帳数は福井市役所の公表数を基としている。

※統計的な参考値で正確ではありません。

「障がいがある」ということ

継続的に、日常生活又は社会生活に
相当な制限を受けること



生活するとは？

皆さんの**生活**はどのように営まれていますか？

{ 洗濯、掃除、食事、睡眠、家族の世話
郵便物の処理、近所づきあい、友達との付き合い
仕事、買い物、趣味活動などなど

それらがうまくできなくなることは、
生きることの辛さにつながります。



脳内の物質のバランスが崩れると…

●片付けができず
ゴミ屋敷



●乱れた食生活



●対人トラブル



●身だしなみを
整えられない



●眠れない



見ていて違和感のある生活状態

例えば…

- ◆挨拶をしているのに返ってこない・怒られる。
- ◆集団の中に入れない。人と接するのを嫌がる。
- ◆家に誰が住んでいるのか分からない、家にいるのか分からない。
- ◆一見おかしい風貌（服装、化粧など）、独り言、怪我している、よく転んでいるみたい。
- ◆よくお酒を買いに来る。

コミュニケーションの障害

怒りっぽい

話さない

話しかかみ合わない

話しが一方的

人に関心を示さない、示してほしくない

人に恐怖心を持っている

手助けが必要な人は、
大体
コミュニケーション
が苦手…



地域には自分からSOSを出せない人が埋もれている

病気の診断を受けていなくても…

孤立している

他者とのトラブルを繰り返す

非道徳的な行動、迷惑行為を繰り返す

虐待されている・している

家族関係の問題がある

このような行動の
背景に
精神的・知的な
問題が
隠れている可能性
がある

外側から、問題がわかりにくい



誰かの異常に気付くには

- ◆家の雰囲気（家族構成、最近、姿を見るか？新聞や広告がたまっていないか？電気はついていないか？大声や怒鳴り声が聞こえることがあるか？
- ◆近隣の方と付き合いや関係性？人の出入りはあるか？
- ◆外出しているか？外出の時の手段は徒歩？自転車？大体の出発時間や帰宅時間など

おや？と思ったときはどうすればいい？



一人だけで悩んだり、考えたりする必要はありません。気軽に関係機関に相談しましょう！

地区障がい相談支援事業所

身体・知的・精神の区別なく障がいに関する基本的な相談に対する地域に身近な相談窓口。市内を4つに分けた地区担当制となっています。

ほくとう：福井市新保町16-3-2 クローバーハウス内（43-1229）

**ほくせい：福井市燈豊町43-9-3 九頭竜ワークショップ七瀬の郷内
（080-8998-0033）**

なんとう：福井市下六条町217-4 （福）六条厚生会内（41-2334）

なんせい：福井市有楽町3-4 松坂ビル1F102（50-6572）

基幹相談支援センター

「総合的、専門的な相談支援」、「権利擁護、虐待の防止」、「地域の相談支援体制の強化」、「福井市障がい者自立支援協議会の運営への参画」などを行う福井市の中核的な相談機関。障がい者虐待の通報、届出の窓口となる「虐待防止センター」の業務も行っています。

場所：福井市有楽町3-4 松坂ビル1F101

電話：0776-50-3823 F A X：0776-50-3824

【福井市障がい者虐待防止センター】

電話：0776-50-3853

ほやねっと（地域包括支援センター）

介護・保健・福祉・医療サービスの利用も含めたさまざまな問題の相談に応じ、高齢者やその家族を支える高齢者の身近な相談窓口。公民館区ごとに担当が決まっており、現在福井市内に13か所設置されています。

（一覧は次ページ参照）

センター 名	住 所	電話番号	担 当 地 区
ほやねっと明倫	木田 1 丁目 3308(うらの家内)	33-5777	豊・木田
ほやねっとあたご	明里町 9-20(あたごデイサービス内)	33-6800	足羽・湊
ほやねっと中央北	文京 2 丁目 12-23(福島ビル 1 階)	28-7271	春山・宝永・松本
ほやねっと不死鳥	日之出 4-3-12(ふれあい公社内)	20-5683	順化・日之出・旭
ほやねっとあずま	和田中町舟橋 7-1(福井県済生会病院東館内)	28-8511	和田・円山
ほやねっと大東	丸山町 40-7(愛全園 3 階)	53-4092	啓蒙・岡保・東藤島
ほやねっと九頭竜	高木中央 3 丁目 1701(グループホームふじしま内)	57-0040	中藤島・森田
ほやねっと北	新田塚 1 丁目 42-1(福井総合クリニック内)	25-2510	西藤島・河合・明新
ほやねっとみなみ	下荒井町 20-6(水谷ビル 1 階)	43-1316	清明・麻生津
ほやねっと社	福 1 丁目 1710	36-1246	社南・社北・社西
ほやねっと光	大瀬町 23 字 101(東安居苑 2 階)	35-0313	日新・東安居・安居・一光・殿下・ 越廼・清水西・清水東・清水南・ 清水北
ほやねっと川西	仙町 6-4	97-8003	大安寺・国見・棗・鷹巣・鶉・本郷・ 宮ノ下
ほやねっと東足羽	下六条町 217(厚生健康福祉センター内)	41-4135	酒生・一乗・上文殊・文殊・六条・ 東郷・美山
【すいだに相談所】	梶谷町 12-9-2	90-3858	

福祉総合相談室よりそい

生活の困りごとや不安について、支援員が相談対応します。
どのような支援が必要かを一緒に考え、解決に向けて支援します。
“どこに相談すれば良いかわからない”時の相談窓口
(例えば、家賃が払えない、仕事がみつからない、社会にでるのがこわい、住むところがないなど)

福井市大手3丁目10-1 福井市役所別館3階
電話：0776-20-5580

福井市保健所

心の病気に関する不安や悩みについて、福井市民を対象に精神科医師や臨床心理士、保健師などが相談を受けています。

場所：福井市西木田2丁目8-8

電話：0776－33－5185

福井県児童相談所

児童相談（子育て、発達のこと）、子ども虐待・防止相談などの受付している。相談の費用は無料で、秘密は守られます。

場所：福井市木田3丁目701

電話：0776－35－1581（月曜～金曜）

虐待通報：189

相談支援専門員

障がいのある人もその人らしく地域で暮らし続けることが出来るよう支援する専門職。主に以下のような仕事をしています。

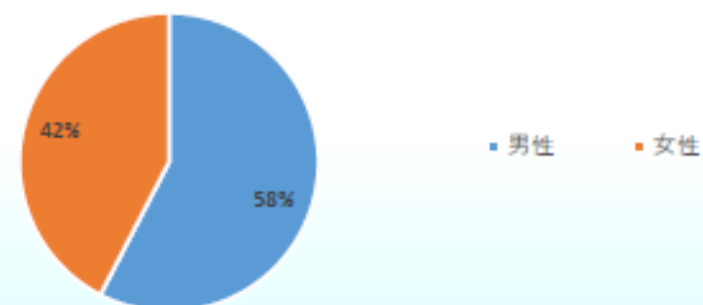
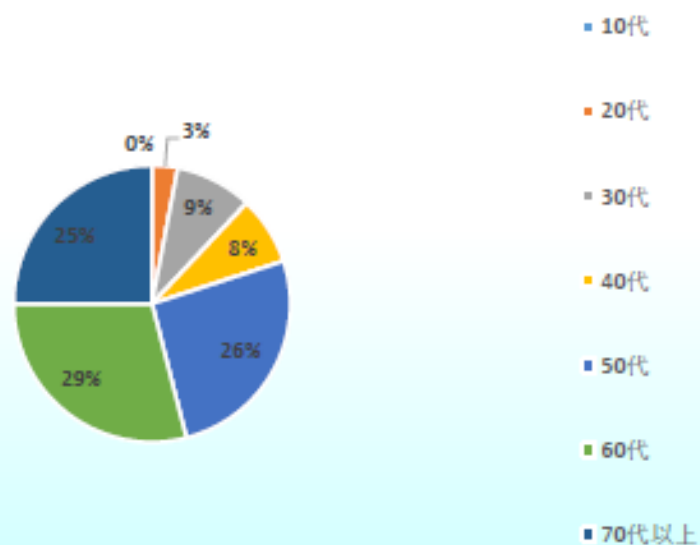
- ①福祉サービス利用を始めるための計画書を作る
- ②障がいのある方の相談に応じ、助言や事業所との連絡調整等を行う
- ③モニタリング（暮らしの振り返り）
- ④福祉サービスの調整（利用時間や日数を増やす等）

など

地域での暮らしを希望しているが、出来ていない方

10代	0
20代	3
30代	9
40代	8
50代	26
60代	29
70代以上	25

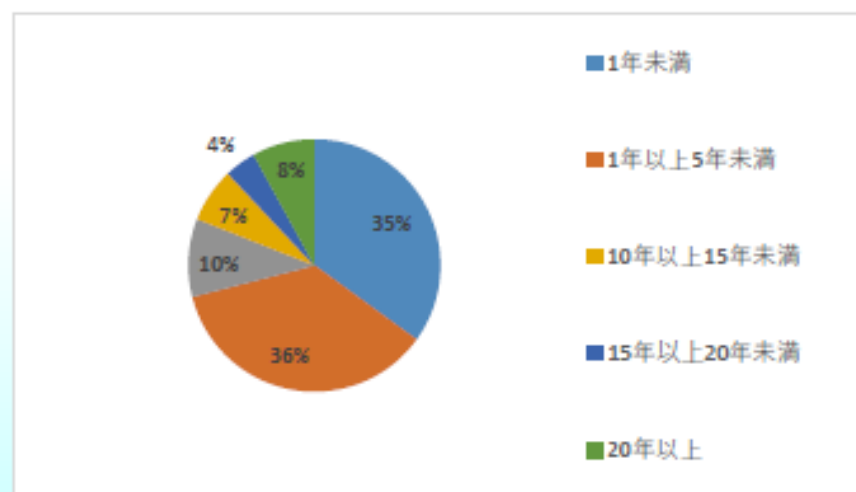
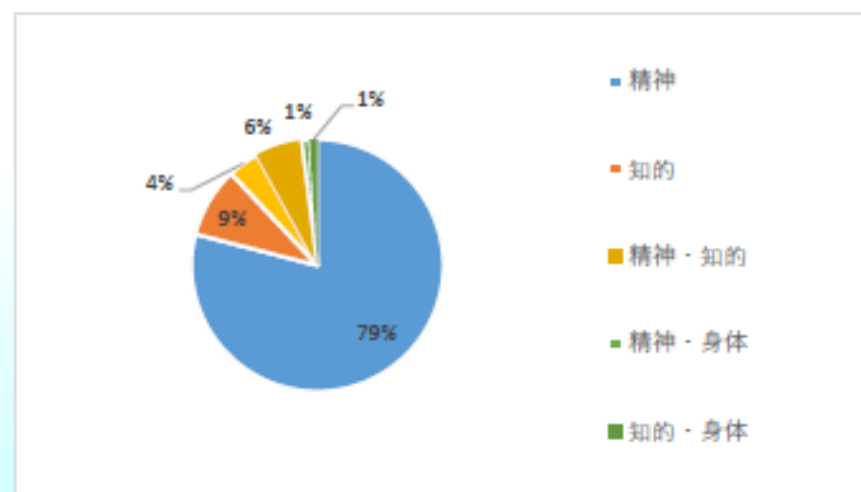
男性	53
女性	39



障がい種別と施設・病院の利用年数

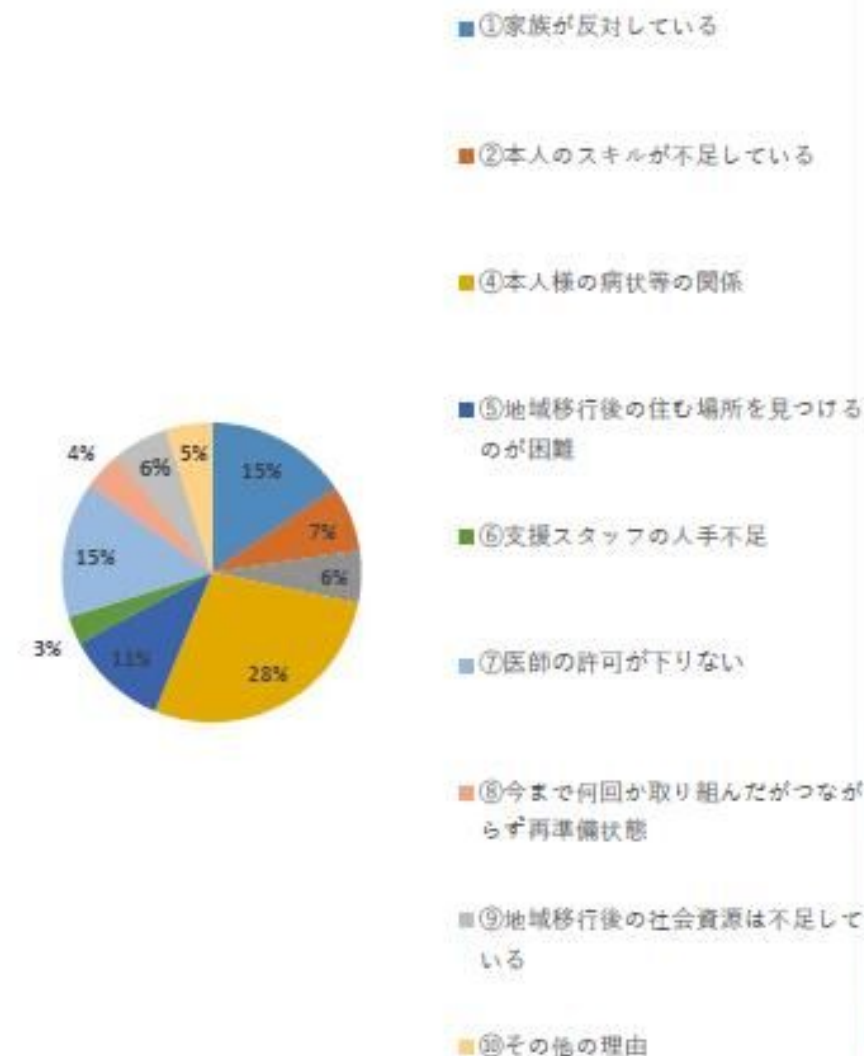
精神	79
知的	9
身体	4
精神・知的	6
精神・身体	1
知的・身体	1

1年未満	35
1年以上5年未満	36
5年以上10年未満	10
10年以上15年未満	7
15年以上20年未満	4
20年以上	8



地域での暮らしが進められない理由

①家族が反対している	41
②本人のスキルが不足している	19
③本人自身が不安を感じている	15
④本人様の病状等の関係	74
⑤地域移行後の住む場所を見つけるのが困難	29
⑥支援スタッフの人手不足	8
⑦医師の許可が下りない	39
⑧今まで何回か取り組んだが繋がらず再準備状態	11
⑨地域移行後の社会資源は不足している	16
⑩その他の理由	13
・ 障害状況・介護者が不在 2件	
・ 自宅がバリアフリー化されていない、 障害の重度化、介護者の高齢化 1件	
・ コロナ禍で外出不可 2件	
・ 本人はあくまで自宅希望だが 家族の受け入れ× 1件	
・ 家族が県外 1件	
・ 施設待ち 2件	
・ 家族消極的 1件	
・ 身体管理 1件	
・ サービス拒否あり 1件	



民生委員・児童委員の皆さんに お伝えしたいこと

- ・ 支援が必要な方を支える専門職や関係者はたくさんいる。
→ 困ったことがあったら、気軽に相談してください！
- ・ 支援が必要な方も、地域で生活していくのに不安や戸惑いを感じながらも頑張っている。
- ・ その人を「知る」ことで、不安は少なくなります。支援が必要な方を地域で支える方法を、一緒に考えましょう。

ご清聴ありがとうございました